

令和6年6月 生育・病害虫情報（野菜）

令和6年6月24日

JAあきがわ営農支援センター

この情報はJAあきがわ管内の複数の特定圃場を巡回して、生育や病害虫発生状況を調査したものです。

スイートコーン	生育はおおむね順調です。多くが受粉期、登熟期を迎え、出荷量も増えています。すでにアワノメイガの被害がみられています。防除をしっかり行いましょう。	
ネギ	生育はおおむね順調です。多くの圃場でネギアザミウマの寄生や被害が多くなっています。また、複数の圃場で黒斑病の症状がみられています。	
果菜類（露地）	ナス、ピーマンは生育がやや遅れている傾向にあります。定植後の天候の影響と思われます。なお、トマトでは一般の方からオオタバコガの被害の相談が増えています。	
その他	ジャガイモは収穫期を迎えています。一部で疫病やテントウムシダマシがみられました。キャベツでは一部の圃場でヨトウムシの若齢幼虫がみられました。	 <p>疫病</p>

果樹類については果樹カメムシ類の被害に引き続き注意してください。

関東甲信地方1か月予報(6/22~7/21)：気象庁6/20発表

平均気温は高い確率が80%。平年と同様に曇りや雨の日が多い。

→期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。